



平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 2 月 8 日

上場会社名 株式会社多摩川ホールディングス 上場取引所 JQ
 コード番号 6838 URL <http://www.tmex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 昇
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 山越 裕介 TEL (0467) 79-7027

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

(注) 当第 3 四半期より連結財務諸表を作成しているため、前年同期及び前期の実績の記載、及び比較は記載しておりません。

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	2,493	(-)	10	(-)	37	(-)	50	(-)
19年3月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-
19年3月期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	9	38	-	-
19年3月期第3四半期	-	-	-	-
19年3月期	-	-	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年3月期第3四半期	4,885		2,428		48.3	450	28	
19年3月期第3四半期	-		-		-	-	-	
19年3月期	-		-		-	-	-	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第3四半期	57		△199		△517		310	
19年3月期第3四半期	-		-		-		-	
19年3月期	-		-		-		-	

2. 配当の状況

	1 株当たり配当金	
(基準日)	第 3 四半期末	
19 年 3 月期第 3 四半期	円	銭
	—	—
20 年 3 月期第 3 四半期	—	—

3. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) 【参考】
 (%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	3,273 (—)	59 (—)	66 (—)	61 (—)	11 60

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う 特定子会社の異動) : 有
 新規 2 社 (社名 株式会社多摩川電子、AppLight Technologies Pte. Ltd.)
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

〔(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績につきましては、本資料発表日現在における入手可能な情報に基づき作成したものであります。従いまして、実際の業績につきましては、今後、様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期の我が国経済は、企業業績は堅調に推移したものの、サブプライム住宅ローン問題を背景とする米国景気の停滞懸念、株式市場の低迷や原油価格の高騰が徐々に景気の先行きに不透明感を与えるようになりました。

このような環境の下、当社グループの主要な業務である移動体通信関連事業や地上波デジタル放送関連事業につきましては、大手企業の旺盛な設備投資需要を背景に堅調に推移いたしました。

当第3四半期におきましては、売上高は2,493百万円となっております。営業利益は10百万円、経常利益は37百万円、四半期純利益は50百万円となり、9月中間期に比較し、すべて黒字に転換いたしました。これは受注の増加に伴い、生産・出荷が順調に推移した結果によるものであります。現在、受注は当初予定を約30%上回る水準で推移しており、生産・売上実績も当初予定に比較しそれぞれ約10%、16%上回っております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(財政状態の変動状況)

当第3四半期末の財政状態につきましては、流動資産が3,126百万円、固定資産が1,758百万円、流動負債が1,915百万円、固定負債が518百万円となっております。

なお、当社は当連結会計年度より連結財務諸表を作成しておりますので、前年同期比は記載しておりません。また、海外子会社グループの決算期が12月末日である関係上、今後の連結会計年度につきましては、海外子会社グループと当社との間に3ヶ月間の期間差異が生ずることになります。

当第3四半期の連結につきましては、国内当社グループの連結財務諸表に海外子会社グループの取得日である10月1日現在の貸借対照表のみを連結する形式で作成しておりますので、次項のキャッシュ・フローの状況及び後述のキャッシュ・フロー計算書につきましては、国内当社グループのみを対象として記載しております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前期末と比べ658百万円減少し、310百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、57百万円の収入となりました。また、投資活動によるキャッシュ・フローは、海外子会社グループ取得に伴う支出を中心とした199百万円の支出となり、財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては長期借入金の返済655百万円を主な要因とした517百万円の支出となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の業績は、概ね計画どおり推移しております。従いまして、中間決算短信において発表いたしました平成20年3月期の連結業績予想は現在のところ変更ありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規 2社：株式会社 多摩川電子

AppLight Technologies Pte Ltd.

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

① 棚卸資産の棚卸高の算定方法

当第3四半期会計年度末につきましては、前会計年度末の实地棚卸高を基礎とし、継続記録法により合理的に算定した帳簿棚卸高をもって棚卸資産の棚卸高としております。

② 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当社では前会計年度末と当第3四半期会計年度末における貸倒引当金につきましては、個別評価による貸倒引当金のみとなっております。

③ 税金費用の算定方法

当第3四半期会計期間における法人税等の計算につきましては、納付税額の算出にあたり加味すべき加減算項目等について、重要性の高い項目のみに限定した計算方法によっております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

最近事業年度からの会計処理の方法に変更はございません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位: 千円、%)

科 目	前年同四半期末	当四半期末	増 減		(参考)
	〔平成19年3月期〕 第3四半期末	〔平成20年3月期〕 第3四半期末	金 額	増減率	前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額		金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現 金 及 び 預 金	—	415,293	—	—	—
2. 受 取 手 形	—	90,946	—	—	—
3. 売 掛 金	—	1,676,563	—	—	—
4. た な 卸 資 産	—	778,572	—	—	—
5. 未 収 入 金	—	98,357	—	—	—
6. 預 け 金	—	—	—	—	—
7. そ の 他	—	67,244	—	—	—
流動資産合計	—	3,126,978	—	—	—
II 固定資産					
1. 有 形 固 定 資 産					
(1) 建 物	—	176,998	—	—	—
(2) 土 地	—	197,903	—	—	—
(3) そ の 他	—	369,137	—	—	—
有形固定資産合計	—	744,039	—	—	—
2. 無 形 固 定 資 産	—	278,047	—	—	—
3. 投 資 そ の 他 の 資 産					
(1) 投 資 有 価 証 券	—	323,499	—	—	—
(2) の れ ん	—	256,336	—	—	—
(3) そ の 他	—	165,871	—	—	—
(4) 貸 倒 引 当 金	—	△9,204	—	—	—
投資その他の資産合計	—	736,502	—	—	—
固定資産合計	—	1,758,590	—	—	—
資産合計	—	4,885,568	—	—	—

（単位：千円、％）

科 目	前年同四半期末	当四半期末	増 減		(参考)
	〔平成19年3月期〕 第3四半期末	〔平成20年3月期〕 第3四半期末	金 額	増減率	前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額		金 額
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支 払 手 形	—	599,904	—	—	—
2. 買 掛 金	—	672,414	—	—	—
3. 未 払 金	—	129,592	—	—	—
4. 未 払 費 用	—	62,365	—	—	—
5. 未 払 法 人 税 等	—	33,203	—	—	—
6. 前 受 金	—	44,443	—	—	—
7. 一年内返済予定長期借入金	—	300,715	—	—	—
8. そ の 他	—	73,262	—	—	—
流動負債合計	—	1,915,901	—	—	—
II 固定負債					
1. 長 期 借 入 金	—	127,567	—	—	—
2. 繰 延 税 金 負 債	—	13,807	—	—	—
3. 退 職 給 付 引 当 金	—	66,237	—	—	—
4. 長 期 未 払 金	—	244,411	—	—	—
5. 社 債	—	66,600	—	—	—
固定負債合計	—	518,622	—	—	—
負債合計	—	2,434,524	—	—	—
(少数株主持分)					
少数株主持分	—	22,949	—	—	—

（単位：千円、％）

科 目	前年同四半期末	当四半期末	増 減		(参考) 前期末
	〔平成19年3月期 第3四半期末〕	〔平成20年3月期 第3四半期末〕	金 額	増減率	(平成19年3月期末) 金 額
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資 本 金	—	1,029,413	—	—	—
2. 資 本 剰 余 金					
(1) 資 本 準 備 金	—	1,196,022	—	—	—
資本剰余金合計	—	1,196,022	—	—	—
3. 利 益 剰 余 金					
(1) その他の利益剰余金					
別 途 積 立 金	—	120,000	—	—	—
四 半 期 (当 期) 繰 越 利 益 剰 余 金	—	219,808	—	—	—
利益剰余金合計	—	339,808	—	—	—
4. 自 己 株 式	—	△59,924	—	—	—
株主資本合計	—	2,505,319	—	—	—
II 評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	—	△77,224	—	—	—
評価・換算差額等合計	—	△77,224	—	—	—
純資産合計	—	2,428,095	—	—	—
負債、純資産合計	—	4,885,568	—	—	—

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期	当四半期	増 減		(参考) 前期
	(平成 19 年 3 月期 第 3 四半期)	(平成 20 年 3 月期 第 3 四半期)	金 額	増減率	(平成 19 年 3 月期) 金 額
I 売上高	—	2,493,651	—	—	—
II 売上原価	—	2,109,916	—	—	—
売上総利益	—	383,735	—	—	—
III 販売費及び 一般管理費	—	373,487	—	—	—
営業利益	—	10,248	—	—	—
IV 営業外収益	—	36,216	—	—	—
V 営業外費用	—	8,841	—	—	—
経常利益	—	37,622	—	—	—
VI 特別利益	—	18,689	—	—	—
VII 特別損失	—	12,257	—	—	—
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	—	44,054	—	—	—
税金費用	—	△6,513	—	—	—
四半期(当期) 純利益	—	50,568	—	—	—

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前年同四半期 〔平成 19 年 3 月期〕 第 3 四半期	当四半期 〔平成 20 年 3 月期〕 第 3 四半期	(参考) 前期 (平成 19 年 3 月期)
区 分	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期(当期)純利益 (△純損失)	—	44,054	—
減 価 償 却 費	—	36,441	—
貸 倒 引 当 金 の 増 加 額	—	125	—
賞 与 引 当 金 の 減 少 額	—	△11,687	—
退 職 給 付 引 当 金 の 増 加 額	—	2,417	—
役 員 退 職 慰 労 引 当 金 の 減 少 額	—	△6,066	—
受 取 利 息 及 び 受 取 配 当 金	—	△28,068	—
支 払 利 息 及 び 社 債 利 息	—	7,623	—
投 資 有 価 証 券 売 却 益	—	△314	—
固 定 資 産 売 却 益	—	△8	—
固 定 資 産 除 却 損	—	1,777	—
売 上 債 権 の 増 加 額	—	△214,169	—
た な 卸 資 産 の 増 加 額	—	△228,515	—
未 収 入 金 の 増 加 額	—	△79,055	—
仕 入 債 務 の 増 加 額	—	376,950	—
未 払 金 の 増 加 額	—	158,462	—
未 払 消 費 税 等 の 減 少 額	—	1,936	—
そ の 他	—	△14,229	—
小 計	—	47,674	—
利 息 及 び 配 当 金 の 受 取 額	—	26,940	—
利 息 の 支 払 額	—	△7,178	—
法 人 税 等 の 支 払 額	—	△10,004	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	—	57,432	—

(単位：千円)

	〔前年同四半期〕 平成 19 年 3 月期 第 3 四半期	〔当四半期〕 平成 20 年 3 月期 第 3 四半期	(参考) 前期 (平成 19 年 3 月期)
区 分	金 額	金 額	金 額
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出	—	△13	—
有形固定資産の取得による支出	—	△37,176	—
有形固定資産の売却による収入	—	1,669	—
投資有価証券の取得による支出	—	△51,366	—
投資有価証券の売却による収入	—	261,814	—
貸付による支出	—	△155,298	—
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△223,742	—
投資活動におけるその他の支出	—	4,908	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	—	△199,204	—
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入による収入	—	170,193	—
長期借入金の返済による支出	—	△655,129	—
社債の発行による収入	—	100,000	—
自己株式の取得による支出	—	△59,200	—
配当金の支払額	—	△33,429	—
財務活動におけるその他の支出	—	△39,571	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	△517,136	—
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—
V 現金及び現金同等物の減少額	—	△658,908	—
VI 現金及び現金同等物の期首残高	—	969,696	—
VII 現金及び現金同等物の期末残高	—	310,787	—